



大滝トンネル 工事情報通信

No. 2 2022年5月

若葉がまぶしく過ごしやすい季節になりました。コロナはまだまだ収束方向に向かいませんが、皆さんはお変わりないでしょうか。大滝トンネル工事ですが、天候に恵まれ概ね予定通り進んでおり、連休明けよりトンネル掘削を始める予定です。

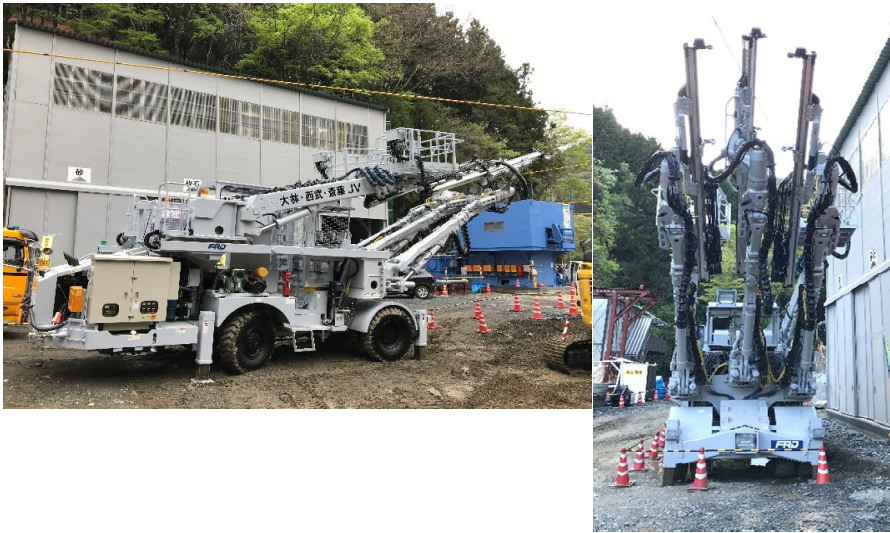
工事の進捗状況

2月から準備工事を始めてトンネルを掘るための設備（コンクリートを練る設備・濁水処理設備・現場休憩所・修理工場）や、坑口部分の擁壁工事、抑え盛土工事が完了し、トンネルを掘るための機械も搬入しました。大きなダンプトラック（重ダンプトラック30t）は5月に搬入します。



バッチャープラント、濁水処理設備
このトンネルは、現場内にコンクリートを練る設備を設置し、吹付用のコンクリート製造をします（左）。また、汚濁水が発生することから、濁水処理設備（右）を設置しています。処理する能力は1時間に60tの汚れた水を処理できます。

油圧ドリルジャンボ
岩盤を削孔する機械です。トンネル工事を行うとき一番大きな機械になります。3m～6mの鉄筋のアンカーや火薬を岩盤に装填するための削孔をする機械です。総重量が44t、長さが15mあります。トンネルを掘るための機械としては一番大きい機械です。



油圧ブレイカー
普通の工事で見かける機械よりもアームが短くできており、トンネル内の限られた空間でも旋回が自由にでき、丈夫になっています。
坑口部分は火薬を使わず、この機械で岩盤を壊しながらトンネルを掘ります。

2022年4月25日現在

掘削	0 m
覆工	0 m

近々の工事予定

現在、トンネルを掘る個所へセメントで改良した盛土を行っています。この後、トンネルを掘るための掘削や山が崩れないようにするための吹付けコンクリートを始めます。トンネル形状で掘削をするのは5月に入ってからになります。掘削で発生したズリは、5月中旬以降から皆野両神荒川線へ運搬する予定です。6月10日くらいまでは火薬を使わず、油圧ブレイカーで掘削します。その後、トンネル入り口部分に防音扉を設置し発破掘削を行います。火薬使用前は近隣の皆様（強石地区、猪鼻地区）にご連絡させていただきます。また、初めは火薬の量を抑えて発破を行い、騒音や振動を調査しながら進めていきますのでご協力をお願いします。

問合せ先

大滝トンネル事業全体
に関するお問い合わせはこちら

埼玉県西関東連絡道路建設事務所
住所：秩父郡皆野町皆野2511-1
TEL：0494-62-5811
担当：菅沼、宮城、小池

大滝トンネル本体工事
に関するお問い合わせはこちら

大林・西武・斎藤JV工事事務所
住所：秩父市荒川贅川 703-1
TEL：0494-26-6371
担当：古家・小野寺・寺園